



志紀おおぞらこども園

第9号

発行者：岡内郷子

2025, 7, 11

先生たちも学び合ってます！



ポイント

研究テーマの『子どもも大人も』のところが大人もとしたところがポイントです。この大人には、志紀おおぞらこども園にかかわるすべての大人(保護者や地域の人たち)が入っています。

研究方法

☆園内研究会

年4回、公開保育を行い八尾市の認定こども園の先生方や保育園、幼稚園の先生方、小中学校の先生方に来ていただいたり、学識経験者の先生にご助言をいただいたりしています。学識者は、元常磐会短期大学の輿石先生です。

☆事例研究会

研究テーマに沿った子どもたちの心が動いている場面の事例を基に、参加者で意見を出し合い学び合っています。

☆研究推進会議・指導案検討会議

研究テーマに添いながら、各学年の代表者が集まり話し合ったり、指導案を立案したりして学び合っています。

実は…、八尾市の幼児教育の質の向上を目指して、“幼児教育研究園”として研究の指定を受け、令和7年度8年度の二年間、研究をしていくことになりました。研究テーマは

子どもも大人も一人ひとりが主人公

～安心と挑戦を支え合うチームおおぞら～ です。

子どもたちが安心して一歩踏み出すためには『アタッチメント＝安心』が必要で、一人ひとりの言葉にできない心の奥にある思いを受けとめ寄り添うことや肯定的なあたたかい言葉を届けることで子どもたちが安心感をもって過ごし、自分や周りの人や物を大切にしながら過ごすことにつながっていくと考えています。

志紀おおぞらこども園にいるすべての子どもも大人も一人ひとりが主人公であり、互いに支え合いたいと思っています。そういう思いがいっぱい詰まった研究です。保護者の方にもお知らせしていきますので、ぜひ『一緒に！！』の気持ちでいただけたら嬉しいです。

アタッチメント(愛着)とは？

『愛着』と聞くと、保護者と子どもとの愛情深い関係というような意味を感じる人も多いと思います。もちろんそれも大事なことです。アタッチメントのアタッチとは小さな物を大きな物につけるというような意味をもちます。大人と子どもの関係で言うと、ピタッとくっついて抱っこしているような安心感を得る根源的なかわりのイメージです。しかしそれは、決して保護者と子どもの関係に限定されるわけではなく、私たち保育者を含んだ育ちを支える周囲の大人との関係の中で築かれていくものです。

子どもは思いや願いをさまざまな形で表現します。その時に周囲の身近な大人が思いをしっかり受けとめ、共感してもらえることで安心感や信頼感に満ちていきます。そしてそれが、心の安定にもつながっていきます。幼児期の今しかできない“好き好き抱っこ”や“好き好きシャワー”をいっぱいしてあげて、10年後20年後、安心できる生活を送って欲しいですね。私たち保育者も、保護者の皆様と一緒に“好き好きシャワー”をいっぱい届けたいと思っています！！ぜひ、ご家庭でも取り入れてください。



どんな七夕飾りをつくったか…。各学年で紹介しました



乳児クラスは七夕のパネルシアターをみました！！

☆今日は七夕の日
1年に一度、おり姫
とひこ星が会える日
☆というストーリーの劇
でした。

ランチホールの上
では、おり姫が…。
ひこ星と会えないと
分かれ、泣いていま
した。



天の川をとお部屋から出る乳児クラスの子もたち。かわいかったですよ～

七夕のつと

